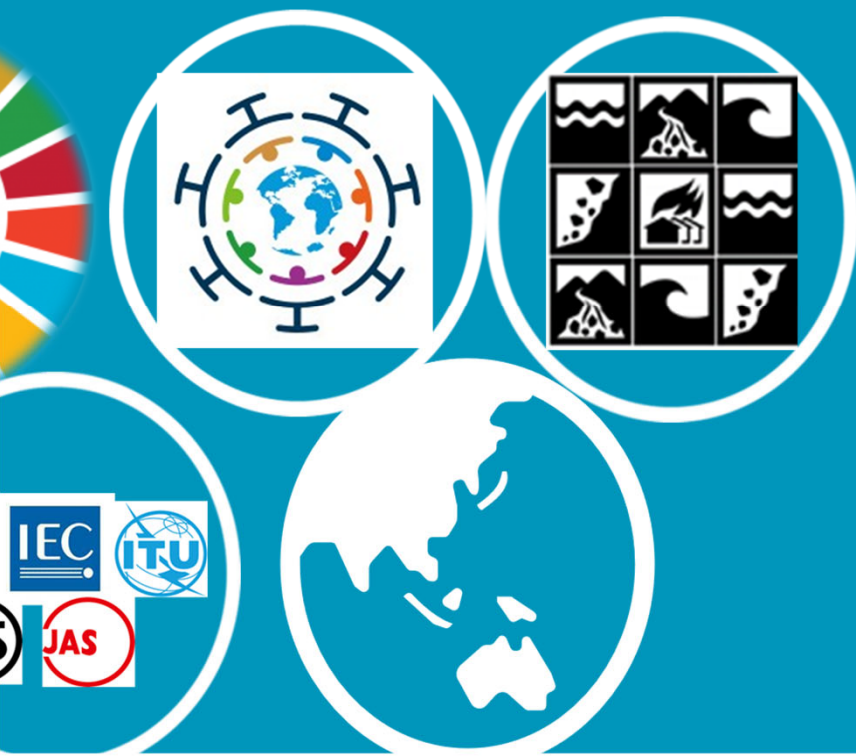


連携 産業界



中部大学ESDエコマネーチームは学生主体で開発した標準化教材を用いて産業界向けに標準化教室を開催しています。



国際標準化、標準化教育を所轄しています。

2011年以降連携しています。コンサルタントの団体で、中小企業への環境マネジメント及び関連分野の支援で連携しています。中小企業の環境マネジメントシステム構築の支援のためにチームが開発した標準化教材「[もし社長だったら](#)」を活用しています。



日本環境取引機構（エコステージ協会）



2011年以降連携しています。環境マネジメントシステムの認証スキームであるエコステージを運営しています。中小企業の環境経営支援を行っています。チームが開発した教材を活用したセミナー等で連携しています。

2019年にエコステージに参加している企業とエコステージ会員を対象にSDGs ワークショップを実施しました。ワークショップでは、2018年度中部大学ESDエコマネーチームの学生が作成した標準化教材である「[世界を救え～save the world～](#)」の実演と、5年後までに実際に自社で行うSDGs目標のグループワークを行いました。



グリーン購入ネットワーク



SDGs標準化教材である「[世界を救え～save the world～](#)」の実演を行いました。参加者は愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、刈谷市であり、SDGsボードゲームをしながら自分の所属している県や市では、どのような問題を抱えており、どのように解決をしているのかをグループワークにて討論しました。

環境問題に関する知識を非常に高いレベルで有していたため、カードに書かれている問題に対して、積極的に討論を行っていました。また、参加者から「自分の県や市で行っている取り組みを伝え合うことによって、お互いに考えたこともなかったアイディアを得ることができ、とても建設的な話し合いの場となった。」というような感想をもらうことができました。



日本青年会議所 愛知ブロック、刈谷青年会議所

2019年以降連携しています。2019年は愛知ブロックと連携を行いました。2019年は日本青年会議所がSDGsをテーマとしています。愛知ブロックでは、SDGsの研修を行いました。

とうかい号でのSDGsの研修と発表会を計画する段階で、研究室を訪問した事務局に対して[世界を救え\(SDGs+超スマート社会\)](#)を用いた実演を行いました。青年会議所は企業の経営者により構成しており、それぞれの企業にどう当てはまるかを検討しました。

2020年は刈谷青年会議所と連携し、刈谷市の小学生と中学生を対象とした[HIKARIYAプロジェクト](#)を実施しました。[まもる君\(リスクマネジメント+SDGs\)](#)の教材を用いて講義とグループワークを行いました。コロナ禍のためZOOMを用いた実演となりました。

参加者は医療、自動車、食品、市長から産業を選び、経営者としてリスクマネジメントを体験しました。気候変動、災害、感染症等の対策案が出されました。

ホーム
HOME

刈谷JCとは
ABOUT

事業案内
INFORMATION

活動報告
AFTER FOLLOW

入会案内
WELCOME

会員専用
MEMBER

[トップページ](#) > 第2回青少年育成事業「HIKARIYA【ヒカリヤ】」を開催しました

第2回青少年育成事業「HIKARIYA【ヒカリヤ】」を開催しました

2020年

10月4日

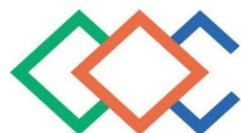
(一社) 刈谷青年会議所

第2回青少年育成事業「HIKARIYA【ヒカリヤ】」を開催しました。

全4回のうちの第2回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症対策のためZOOMを用いて実施されました。

中部大学 准教授 伊藤佳世氏を講師にお招きしご講演をいただくとともに、中部大学ESDエコマネーチームの学生みなさまにファシリテーション等のご協力をいただき、プレイアウトルーム機能を用いたグループワーク形式で中部大学ESDエコマネーチーム考案のゲーム「まもるくん〜Guard the Risk〜」をプレイしながら、子どもたちとともにSDGsおよびリスクマネジメントへの認識を深めることができました。





文部科学省

地(知)の拠点

地域連携：学生主体によるマネジメント分野
の標準化教材を活用した地元企業の支援

もし社長だったら
ISO14001



ルール説明用



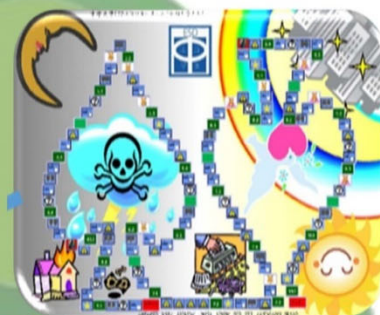
標準って何



活性化
ESDの普及
人材育成

地元
企業

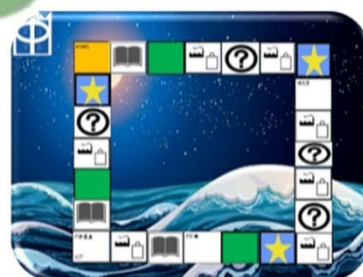
幸友会



会社を守ろう
ISO22301



せきにん
ISO26000



ものづくり
ISO9001



中部大学ESDエコマネーチーム：ESD活動として環境マネジメントおよび関連分野の標準化教育を実践し、環境および標準化人材育成に取り組んでいる学生団体



地元企業向け標準化教室春日井市内企業と中部大生の融合～ISOで繋がる地域連携プロジェクト～

2015年11月2日 中部大学で中部地域産業の活性化を目的に春日井市および中部地域の皆様を対象とした標準化教室を開催しました。講演とワークショップで構成しました。

日本規格協会の富田朝仁氏による基調講演「ISO14001およびISO9001の改訂について」、中部大学の伊藤佳世准教授による「中部大学における環境マネジメントおよび関連分野の標準化教室」の講演後、以下の教材を用いた標準化教室を開催しました。

もし社長だったら（ISO14001：環境マネジメントシステム）
会社を守ろう（ISO22301：事業継続マネジメントシステム）
せきにん（ISO26000：社会的責任）
ものぶろ（ISO9001：品質マネジメントシステム）



「働きやすい職場」労働安全衛生マネジメントシステム

2017年2月11日に中部大学で中部地域から働きやすい職場づくりを広げていくために、地元企業（特に中小企業）向けに労働安全衛生について様々な立場から考える力を養うための標準化教室を開催しました。講演とワークショップで構成しました。

日本規格協会千葉裕介氏に規格の専門家として、規格制定の経緯、規格開発進捗、規格の概要、第三者認証の活用、他のマネジメントとの関係についてお話いただきました。

中央労働災害防止協会 森田晃生氏に労働安全衛生の専門家として、ISO45001を活用して安全衛生水準を上げるためのポイントとして内容面について、組織の状況把握、機会の特定、目標設定、継続的改善についてお話いただきました。

第二部では中部大学の伊藤佳世准教授による「中部大学における環境マネジメントおよび関連分野の標準化教室」のあと、労働ウォッチ（ISO45001：労働安全衛生マネジメントシステム）を用いた標準化教室を開催しました。



「ビジネスにおける持続可能な開発目標（SDGs）とルール形成」（第19回～第21回 中部大学ESDシンポジウム）

中部大学ESDシンポジウム

ビジネスにおける持続可能な開発目標（SDGs）とルール形成

3回シリーズ

参加要約

第1回 10月4日（土）

第2回 10月24日（金）

第3回 10月27日（土）

第1回 10月4日（土）

第2回 10月24日（金）

第3回 10月27日（土）

第1回 10月4日（土）

第2回 10月24日（金）

第3回 10月27日（土）

Society5.0(超スマート社会)の実現や国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）をいかに達成するかは重要な課題です。中部大学国際ESDセンターと連携し、3回連続で産業界を対象にルール形成である「国際標準化」の最新動向を学びながら企業経営のあるべき姿を検討するシンポジウムを開催しました。

基調講演とポスターセッションの二部構成にしました。基調講演では超スマート社会や持続可能な開発目標（SDGs）に関する国際標準化について、第一線で活躍する専門家をお招きし、最新動向を紹介いただきながら、企業経営のあるべき姿を検討しました。ポスターセッションでは関連する標準化教材を用いた標準化教室を開催しました。

2018年8月4日「企業行動憲章とSDGsに関する企業の取り組み」

関正雄氏 経団連企業行動憲章タスクフォース座長ISO26000エキスパートをお招きし、企業行動憲章とISO26000の全体像と産業界の動向、未来志向で企業のあるべき姿を検討しました。Society for SDGsの全体像と産業界の動向について講演いただきました。未来志向で企業のあるべき姿を検討しました。

ポスターセッションではISO26000の標準化教材「せきにん」を用いた標準化教室を開催しました。

中部大学ESDシンポジウム

シリーズ「ビジネスにおける持続可能な開発目標（SDGs）とルール形成」

企業行動憲章とSDGsに関する企業の取り組み

2018年8月4日（土）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年8月4日（土）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年8月4日（土）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年8月24日「スマート社会の実現に向けた標準化とSDGs」

市川芳明氏 IEC/TC111電気・電子機器システムの環境規格議長、ISO TC268/SC1スマート都市インフラ議長をお招きし、ISOやIECにおけるSDGsや超スマート社会に関する国際標準化の最新動向とビジネスに「攻めの標準化」を検討しました。

ポスターセッションではSDGs+Society5.0の標準化教材「世界を救え Save the World」を用いた標準化教室を開催しました。

中部大学ESDシンポジウム

シリーズ「ビジネスにおける持続可能な開発目標（SDGs）とルール形成」

スマート社会の実現に向けた標準化とSDGs

2018年8月24日（金）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年8月24日（金）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年8月24日（金）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年10月27日「持続可能な調達に関する国際規格」

富田秀実氏 ISO20400エキスパートをお招きし、持続可能な調達の国際規格の内容とサプライヤーへの影響、SDGsの時代における調達の在り方を検討しました。

ポスターセッションでは持続可能な調達の標準化教材「世界を変えるにはYou can change the World」を用いた標準化教室を開催しました。

中部大学ESDシンポジウム

シリーズ「ビジネスにおける持続可能な開発目標（SDGs）とルール形成」

持続可能な調達に関する国際規格

2018年10月27日（土）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年10月27日（土）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター

2018年10月27日（土）

時間：13:30～16:00

会場：中部大学ESDセンター



標準化教材の入手方法

How to get Teaching materials of standardization

すべての教材を無償公開

All teaching materials are available for free



https://researchmap.jp/kayo_ito/works



伊藤佳世研究室

Kayo Ito Lab HP



中部大学ESDエコマネーチームFB

Chubu University ESD Eco Money team



中部大学ESDエコマネーチームtwitter

Chubu University ESD Eco Money team



中部大学ESDエコマネーチーム
 春日井市松本町1200
 中部大学経営情報学部
 伊藤佳世研究室
 Tel 0568 51 9968
 Fax +41 22 999 0002
https://www3.chubu.ac.jp/faculty/ito_kayo/